



令和 5 年 11 月 29 日

## 想い虹基金を活用して院内装飾品を職員が手作り ～患者・医療従事者の環境整備に寄付を活用～

岡山大学病院は、院内外からのご寄付を「想い虹基金」として、先進的な医療の推進、患者療養環境の改善、医療従事環境の整備、革新的な研究の進展及び次世代医療人の育成などに活用しています。今年度は想い虹基金を活用したプロジェクトとして、アート作品を職員が手作りし、院内に装飾・展示して、ご来院の皆様にも季節感と癒やしの空間を提供するという初めての取り組みを実施しました。

アート作品は、クリスマスやお正月などのイベントや季節に合わせたものを、ひとつひとつ職員が手作りしています。ご覧になった方の気持ちが和やかになったり、リラックスできたりと、病院が癒やしの場になるよう願いを込めて作りました。

岡山大学病院では今後も、皆様方からの温かいご寄付「想い虹基金」の趣旨を大切にしながら、診療・研究等の助成に活用させていただきます。

### ■発表内容

職員による手作りの会は、総合内科・総合診療科の櫻田泰江医員の立案で今年度初めて実施しました。フラワーアレンジメント教室を主宰する「アトリエ音花」代表の藤原恵さんを講師に招き、病院職員から参加希望者を募って2023年10月から2024年3月まで毎月2回程度、勤務時間外にアート作品を制作する教室を開催しています。10～11月はクリスマス、12月はお正月飾り、1月からは春のお花など季節に合わせた作品を職員が手作りし、院内の掲示板や採血待合室、精算窓口付近に展示・装飾しています。

院内をご通行中の患者さんや職員が作品の前で立ち止まってじっくり鑑賞したり、感想を話し合ったりと、皆様に楽しんでいただいています。

アート作品は、職員が一生懸命工夫をこらして、ひとつひとつ手作りしています。この制作活動をとおして、職員にも気持ちのリフレッシュ効果や癒やしの効果が得られ、より一層こころのこもった医療サービスにつながることを期待されます。

この取り組みを通じて、病院が、和やかで温かみのある癒やしの場となり、患者さんの気持ちを大切にできる医療を提供できるように努めてまいります。

本事業では講師料、材料費、道具費などを「想い虹基金」から活用させていただきました。



PRESS RELEASE



職員による制作の様子



中央診療棟 1階フードコート前に、制作したクリスマスリースなどを展示している



患者さんの待ち時間にも楽しんでもらえるよう、中央診療棟 2階採血待合室にも作品を展示

<お問い合わせ>

岡山大学病院 総合内科・総合診療科

医員 櫻田 泰江

(電話番号) 086-235-7342

(メール) pzaf6h9w@s.okayama-u.ac.jp

